

**令和元年度
宮崎県職員採用試験【大学卒業程度（林業）】**

専門論文試験課題

<課題>

本県では、戦後造林されたスギを中心とする人工林資源が本格的な利用期を迎え、大型製材工場などの稼働に伴う木材需要の増加により森林の伐採面積が増加しており、スギの素材生産量が28年連続日本一、また、国産材の製材品出荷量についても日本一となるなど、全国トップクラスの国産材供給県となっています。

一方、森林資源を造成してきた林業の現場では、林業採算性の悪化から森林所有者の林業経営意欲の減退や、林業従事者の減少・高齢化が進み、伐採後の再造林やその後の育林作業など、林業経営における労働力不足が大きな問題となっています。

このような中、本県においては、森林の持つ公益的機能を高度に発揮させるなど、適正な森林管理を行うことや、豊富な森林資源を有効活用し、持続可能な循環型林業に取り組むために、積極的に林業の担い手を確保していくことが重要ですが、そのためにはどのような取組を進めていくべきか、あなたの考えを述べなさい。